



令和8年 1月 30日
2月号 No.485
発行責任者
校長 西村 学徳
所在地 福生市熊川 623

「ふれあい」で「いじめを防ぐ」

副校長 中島 恵大

早いもので、3学期が始まっておよそ1か月になります。2月は、6月・11月と同様に「ふれあい月間」(いじめ防止強化月間)となっています。一学期の話になりますが、私は、6月の全校朝会でスライドを使って次のような話をしました。

- ・「ふれあい月間」は、「ふれあい」で「いじめを防ぐ」という期間です。
- ・しかし、いじめは人ととの関わりから起こるものだから、「ふれあわないこと」が一番の「いじめ防止策」なのではないか…とも考えてしまいます。
- ・では、なぜ「ふれあい月間」=「いじめ防止強化月間」なのでしょうか。
- ・仲良く遊んだり、優しく接したり、思いやりのある言葉を掛けたりする等「良いふれあい」をしている時は、いじめをしようという気持ちにはなりません。
- ・つまり、「良いふれあい」で「いじめを起こさせない」ということなのです。だから「ふれあい月間」=「いじめ防止強化月間」といえるのです。
- ・二小の子供たちは、ふれあいの力でいじめを防ぐことができると信じています。



全校朝会で使用したスライド

先月は、13日の5校時に「いじめ防止サミット」、15日の全校朝会で、校長によるいじめについて取扱った絵本『わたしのいもうと』(松谷みよこ 作、味戸ケイコ 絵)の読み聞かせをしました。全ての子供たちが真剣な態度で参加し、いじめに関する問題を自分事として捉え、「いじめ防ぐことの難しさ」と「それでも自分ができること」について葛藤しながら考えていました。

二小では、今回の「いじめ防止サミット」で新たに示された「いじめを許さないまち ふっさっ子宣言」を受けて全学級で「いじめ防止ミニ宣言」を作成しました。完成した宣言を見てとても嬉しかったことがあります。それは、どの学級も語尾が「～します。」という「do (やる)」の形だったことです。

「いじめを防ぐ」となると、「暴力を振るわない」「嫌な言葉を言わない」「意地悪をしない」と「～しない。」という「don't (しない)」の形になりがちで、内容もネガティブになってしまう恐れがあります。

しかし、二小の子供たちはしっかりと「自分たちがやること」を宣言してくれました。これは、正に「良いふれあい」を実践して「いじめを防ぐ」ことに他なりません。



いじめ防止ミニ宣言

これから始まるふれあい月間を前にこの宣言を作成したことの意味はとても大きいと感じます。そして私は、6月の全校朝会で二小の子供たちなら「ふれあい」でいじめを防ぐことができると伝え、信じてきて本当に良かったと改めて感じています。

子供たちの「いじめ防止ミニ宣言」をホームページに掲載します。ぜひご覧ください。

(本校朝会で使用したスライドも掲載しています。)



登録用
二次元コード

学校支援ボランティアサポーター(二小くまっこ応援団)を募集しています。

本校の教育活動を支える学校支援ボランティア(二小くまっこ応援団)に御登録いただけの方を引き続き募集しています。

学校支援ボランティア(二小くまっこ応援団)は、保護者・地域の皆様が学校に集い、子供たちや教職員と共に、子供たちのための活動をすすめていくものです。できることを、できる時間に、無理なく支援することが基本で、どなたでも参加できます。子供たちの健全育成のために御協力をよろしくお願ひいたします。

「ふれあい感謝状21」優秀賞受賞

学校支援組織二小くまっこ応援団とPTAによるこれまでの学校への積極的支援の取組が、東京都教職員互助会の教育振興事業「ふれあい感謝状21」において、優秀賞を受賞しました。「創立150周年記念事業 ウォールペイント」や「親子まつり」「校内清掃活動」「親子読書」等、様々な取組が評価されての受賞となりました。ありがとうございました。

本校では、今後とも保護者の方々や地域の方々と連携しながら子供たちのための教育活動を推進していきます。

